

2025 年 10 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 コ コ ペ リ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 近 藤 繁  
(コード番号：4167 東証グロース)  
問 合 せ 先 取 締 役 コーポレート事業部 馬 庭 興 平  
ゼネラルマネージャー  
info-ir@kokopelli-inc.com

### 沖縄銀行にて地域金融機関向けビジネスマッチング管理サービス「BM ポータル」の導入決定

当社が提供する地域金融機関向けビジネスマッチング管理サービス「BM ポータル」が、このたび株式会社沖縄銀行（沖縄県那覇市、取締役頭取：山城正保）に導入されることになりましたので、お知らせいたします。

本サービスは、金融機関のビジネスマッチング業務をオンラインで一元管理するプラットフォームです。これにより、案件情報の検索や提携先企業との連絡が簡潔になり、同意書や請求書の作成が DX され、業務の効率化及びマッチング成約率の向上を実現します。

 おきなわフィナンシャルグループ

## 沖縄銀行 BMポータル

### ■ 導入の背景

金融機関のビジネスマッチングでは、取引先企業の課題に対して、複数の提携先企業から課題解決となるサービスを探し、両社を紹介して商談の設定を行います。これら一連の流れにおける情報のやり取りについて、現在は DX が不十分であるため管理コストがかかることや、また、提携先企業のサービス選定が属人的なノウハウに依存しているという課題を抱えています。

BM ポータルはこれらの課題を解決し、効率的かつ効果的なマッチング業務を実現します。また、情報の一元管理や進捗状況の把握が可能となることで、商談のスピードや効率も向上し、成約率の向上にも繋がります。さらに、取引先企業や提携先企業にとっても大きなメリットがあります。従来、同意書や請求書を紙で作成し、金融機関の担当者へ手渡しや郵送で送付する必要がありましたが、BM ポータルの導入により、これらの手続きがオンラインで完結し、業務の負担が大幅に低減されます。

### ■ 今後について

BM ポータルは、地域金融機関のビジネスマッチング業務の効率化を支援し、AI による案件のレコメンド機能などさらなるサービスの改善と機能拡充に努めてまいります。

現在、他にも複数の金融機関で BM ポータルの導入を決定・検討されており、引き続き本サービスを金融機関へ展開を進めていきます。

また、当社は約 7 年間にわたり、中小企業向け経営支援プラットフォーム「Big Advance」を運用し、累計 20 万件を超える商談を創出してきました。

ビジネスマッチングのリーディングカンパニーとして、こうした実績と現場の知見を活かし、今後も金融機関との連携を通じて、中小企業の課題解決や新たなビジネス機会の創出を支援し、地域経済の活性化に貢献してまいります。